

許 可 番 号	倫-770
研 究 課 題 名	ERCP 前後の輸液量が ERCP 後膵炎に与える影響についての検討
診 療 科	消化器内科
研 究 責 任 者	玄田 拓哉
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	玄田 拓哉 壁村 大至
研究の目的と方法	<p>胆膵内視鏡手技(内視鏡的逆行性胆道膵管造影:ERCP)の偶発症として膵炎が知られています。この膵炎の予防法としては膵管にステントを入れたり、抗炎症作用の坐剤を投与したり、大量の点滴療法などが有効といわれています。しかし、心臓疾患を有する方では低血圧や合併する腎障害のために坐薬の使用が難しい場合や、輸液量を増加することができない場合があります。そこで今回我々自施設の胆膵内視鏡症例の解析から膵炎の危険因子(特に患者因子である心疾患症例)について検討します。</p> <p>この研究では、順天堂病院と当院で症例の記録・登録を行い、主任研究施設である順天堂医院で研究計画立案、データ収集、解析、報告書作成を行います。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	この研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、順天堂医院病院倫理委員会の承認を受け、順天堂大学医学部附属順天堂医院 院長の許可を得て実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査(血算・生化学・凝固)や画像検査(CT・MRI・Xp)、治療内容、治療経過などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担頂くことはありません。
研 究 対 象 者	西暦 2013 年 4 月 1 日～西暦 2020 年 3 月 10 日の間に順天堂大学医学部附属順天堂医院と順天堂大学静岡病院の消化器内科に通院または入院し ERCP を施行した患者を対象とします。
研 究 対 象 期 間	西暦 2013 年 4 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 10 日の間
利用する者の範囲	<p>多施設共同研究 研究代表機関名：順天堂大学医学部附属順天堂医院 代表研究責任者：伊佐山 浩通</p>

個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：玄田拓哉